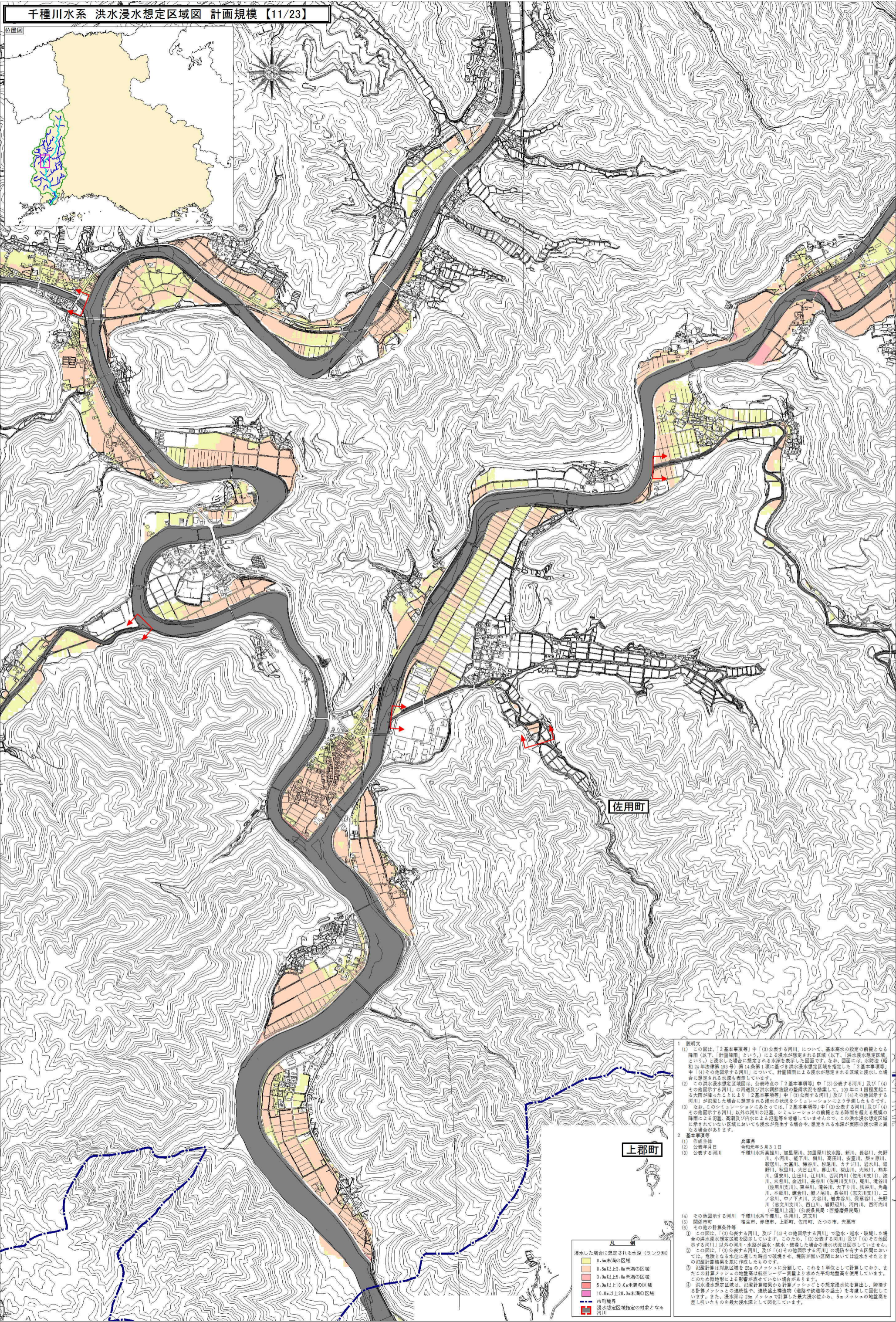
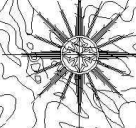
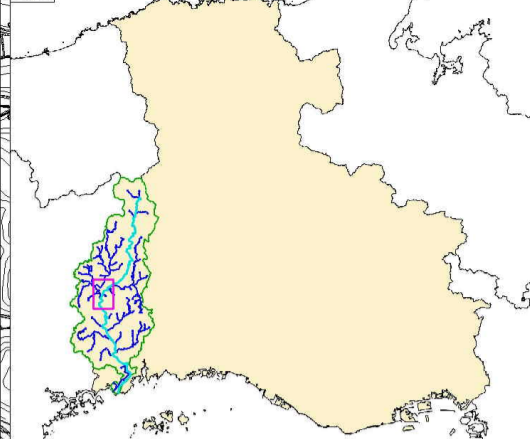


位置図



佐用町

上郡町



1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前線となる降雨(以下、「計画降雨」という)による洪水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他指定する河川」について、計画降雨による洪水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」の河床及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ることにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前線となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 令和元年5月31日
 (3) 公表する河川 千種川水系高瀬川、加屋屋川、加屋屋川放水路、新川、長谷川、矢野川、小西川、船下川、柳川、高田川、安室川、梨ヶ原川、鞍野川、大高川、梅谷川、杉尾川、カサジ川、岩木川、細野川、稲屋川、大石山川、藤山川、坂山川、大谷川、大池川、新井川、須安川、山田川、江川川、西河内川(佐用川支川)、長谷川、末忍川、金逆川、長谷川(佐用川支川)、堀川、滝谷川(佐用川支川)、東谷川、滝谷川、大下り川、荻谷川、角尾川、本郷川、鎌倉川、瀬ノ尾川、長谷川(志文川支川)、志文川、中ノ下り川、大谷川、岩井谷川、長谷川(志文川支川)、西山川、岩野辺川、河内川、西河内川(千種川上流)(公表係民局:西播磨県民局)

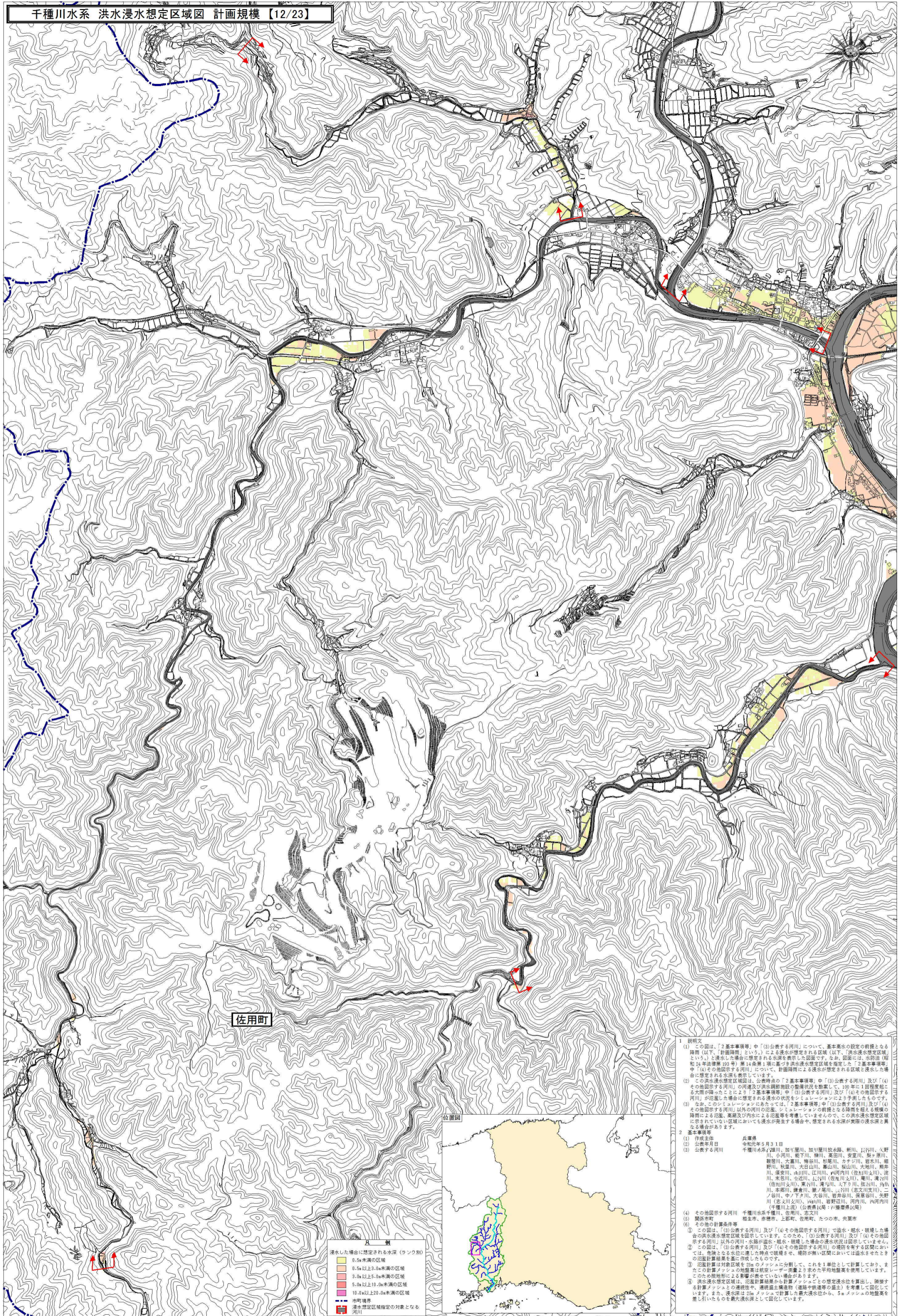
(4) その他指定する河川 千種川水系千種川、佐用川、志文川
 (5) 備考 相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、赤粟市
 (6) その他の計算条件等

① この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を告示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は告示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」の地形を等価な区域において、危険となる水位に達した時点で破壊させ、増防が無い区域においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地形高は数値レーザー測量による平均地盤高を使用しています。このため地形による影響が表せていない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性を、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水深から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。



1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による洪水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和34年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による洪水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河堤及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ることにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される洪水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても洪水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 令和元年5月31日
 (3) 公表する河川 千種川水系千種川、加川、加川川、加川川、新川、長谷川、久野川、小野川、船下川、柳川、高田川、安室川、梨ヶ原川、新野川、大高川、梅谷川、杉尾川、カサジ川、岩木川、細野川、新屋川、大石山川、新山川、新山川、大石川、新山川、新山川、山田川、江戸川、西内川（佐用川支川）、津川、美濃川、全道川、長谷川（佐用川支川）、尾川、渡谷川（佐用川支川）、東谷川、渡谷川、入下川、狭谷川、角川川、本郷川、鎌倉川、新ノ尾川、長谷川（志文川支川）、志文川、中ノ下川、大石川、新山川、新山川、新山川、新山川（志文川支川）、山田川、新野川、河内川、西内川（千種川上流）（公表後1局：千種川上流）

(4) その他図示する河川 千種川水系千種川、佐用川、志文川
 (5) 関係市町 相楽市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、兵庫県
 (6) その他の計算条件等

① この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で治水・治水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が治水・治水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の地形等が異なる区域においては、危険となる水位に達した時点で破堤を、堤防がない区域においては治水されたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地形等は航空レーザー測量より求めた平均地形高を使用しています。このため地形による影響が表れていない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性を、連続浸水浸水（連続浸水浸水の浸水）を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水深から、5mメッシュの地形高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）
0.5m未満の区域
0.5m以上3.0m未満の区域
3.0m以上5.0m未満の区域
5.0m以上10.0m未満の区域
10.0m以上20.0m未満の区域
市町境界
洪水浸水想定区域指定の対象となる河川

